2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月9日

上場会社名　　東海染工株式会社　　上場取引所　東 名

コード番号　　3577　　ＵＲＬ　https://www.tokai-senko.co.jp

代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）八代 健太郎

問合せ先責任者　（役職名）管理部長　　（氏名）小野田　彬成　　ＴＥＬ　052-856-8141

半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　－

決算補足説明資料作成の有無：　無

決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	6,649	0.2	△83	－	66	△27.3	△16	－
2026年３月期中間期	6,633	△0.9	62	－	91	△18.4	27	37.1

（注）包括利益 2027年３月期中間期　834百万円（542.5%）　2026年３月期中間期　129百万円（13.9%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△5.24	－
2026年３月期中間期	8.80	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	16,530	9,941	52.2
2026年３月期	14,916	9,303	52.9

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　8,628百万円　2026年３月期　7,889百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	25.00	25.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	25.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	1.6	150	△8.4	350	12.7	100	△50.5	31.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：　無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	3,614,252株	2026年３月期	3,614,252株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	458,247株	2026年３月期	458,241株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	3,156,009株	2026年３月期中間期	3,156,294株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、個人消費に持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復が続いております。一方で、中東情勢不安を背景としたエネルギー・原材料価格の上昇や為替相場の変動が懸念され、依然として先行きの不透明感は増しております。

このような状況のもと、当社グループは、国内染色加工事業では、サンプル加工設備を移管することで品質、生産性の向上を図りました。また、同業他社の廃業や体制変更に伴う振替受注の取込み、加工料金及び取引条件改定による収益性の改善、官公庁向けユニフォームの新規受注に向けた技術確立に取り組みました。

海外染色加工事業では、既存取引先との取組強化、新規マーケット、新規客先の開拓に注力するとともに、テキスタイル販売の輸出増加に取り組み受注拡大を図りました。

子育て支援事業では、2026年４月より名古屋市で認可保育園１園を開園したことに加え、放課後児童健全育成事業に係る施設を名古屋市内で13校、瀬戸市１校の運営を開始しました。

洗濯事業では、継続的に価格改定の実施を進め、収益拡大に努めました。

これらの結果、売上高は6,649百万円（前年同期比0.2%増、15百万円増）となり、営業損失は83百万円（前年同期は営業利益62百万円）、経常利益66百万円（前年同期比27.3%減、24百万円減）、親会社株主に帰属する中間純損失は16百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益27百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

ａ.染色加工事業

染色加工事業は、売上高は4,129百万円（前年同期比2.7%減、114百万円減）となり、営業損失は174百万円（前年同期は営業損失83百万円）となりました。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。

（加工料部門）

国内では、無地染めの売上数量は伸ばしたものの、プリントにおいて民需、官需とも受注を減らし減収となりました。

海外では、インドネシア子会社において、ユニフォームや輸出向けオーダーの受注に注力しましたが、プリント、無地ともに数量を減らし減収となりました。

これらの結果、加工料部門の売上高は3,073百万円（前年同期比7.3%減、241百万円減）となりました。

（テキスタイル販売部門）

国内では、輸出向けオーダーを取り込むも既存客先からの受注を減らし減収となりました。

海外では、主力のインドネシアにおいて、輸出向けに既存顧客との取組強化や新規オーダーを獲得したことで大幅な増収となりました。

これらの結果、テキスタイル販売部門の売上高は1,055百万円（前年同期比13.7%増、127百万円増）となりました。

ｂ.縫製品販売事業

縫製品販売事業では、小ロット案件を積極的に受注したことで売上高は204百万円（前年同期比4.8%増、９百万円増）、営業利益は８百万円（前年同期比52.3%減、９百万円減）となりました。

ｃ.子育て支援事業

子育て支援事業は、認可保育園の1園の新規開園及び放課後児童健全育成事業の新規受託14施設の運営開始により売上高は2,173百万円（前年同期比5.6%増、114百万円増）となりました。一方、認可保育園の新規開設に係る備品購入代や施設数増加に伴う労務費の増加により営業利益は40百万円（前年同期比48.8%減、38百万円減）となりました。

ｄ.倉庫事業

倉庫事業は、荷扱い量の増加により、売上高は120百万円（前年同期比16.2%増、16百万円増）、営業利益は12百万円（前年同期は営業損失０百万円）となりました。

ｅ.機械販売事業

機械販売事業では、当中間連結会計期間で2台納入が進み、売上高は27百万円（前年同期比2.5%増、０百万円増）、営業利益は１百万円（前年同期は営業損失０百万円）となりました。

ｆ.洗濯事業

洗濯事業は、既存客先との取組強化によりホテルリネンを伸ばし売上高は101百万円（前年同期比9.4%増、８百万円増）となりました。しかしながら人員増や重油価格の高止まりの影響を受け、営業損失は12百万円（前年同期は営業利益10百万円）となりました。

ｇ.その他事業

当セグメントには、システム事業、不動産賃貸事業が含まれており、売上高は48百万円（前年同期比3.7％増、１百万円増）、営業利益は39百万円（前年同期比5.0％増、１百万円増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、16,530百万円（前連結会計年度末比10.8%増、1,614百万円増）となりました。これは主に現金及び預金の増加213百万円、原材料及び貯蔵品の増加127百万円、投資有価証券の増加1,272百万円等によるものです。

負債は、6,589百万円（前連結会計年度末比17.4%増、977百万円増）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加255百万円、長期借入金の増加290百万円、繰延税金負債の増加387百万円等によるものです。

純資産は、9,941百万円（前連結会計年度末比6.9%増、637百万円増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純損失による減少16百万円、配当金の支払いによる減少78百万円、その他有価証券評価差額金の増加878百万円、為替換算調整勘定の減少44百万円等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績結果に加え、第３四半期以降の当社グループを取巻く経営環境の見通しを勘案した結果、2027年３月期通期連結業績予想につきましては、2026年10月23日公表の業績予想から変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,999,932	3,213,504
受取手形	27,734	1,265
売掛金	1,610,396	1,497,515
電子記録債権	454,481	478,008
商品及び製品	249,575	317,555
仕掛品	404,770	504,604
原材料及び貯蔵品	487,049	614,375
その他	141,769	174,635
貸倒引当金	△1,172	△10,530
流動資産合計	6,374,537	6,790,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,241,987	1,305,875
機械装置及び運搬具（純額）	1,395,591	1,347,037
土地	1,750,973	1,747,435
建設仮勘定	94,769	－
その他（純額）	51,026	59,917
有形固定資産合計	4,534,348	4,460,266
無形固定資産		
のれん	6,886	4,131
その他	60,253	67,401
無形固定資産合計	67,139	71,532
投資その他の資産		
投資有価証券	3,613,231	4,885,392
その他	397,115	392,774
貸倒引当金	△70,171	△70,171
投資その他の資産合計	3,940,176	5,207,996
固定資産合計	8,541,664	9,739,795
資産合計	14,916,202	16,530,729

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	541,302	796,824
電子記録債務	562,148	522,572
短期借入金	690,000	680,000
未払法人税等	104,512	64,397
賞与引当金	193,658	149,640
その他	820,251	1,008,289
流動負債合計	2,911,873	3,221,723
固定負債		
長期借入金	1,145,000	1,435,000
役員退職慰労引当金	6,816	3,973
退職給付に係る負債	439,684	405,267
資産除去債務	97,310	115,174
その他	1,011,960	1,408,505
固定負債合計	2,700,770	3,367,921
負債合計	5,612,644	6,589,645
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,120	1,400,120
利益剰余金	1,812,146	1,716,701
自己株式	△702,939	△702,944
株主資本合計	6,809,328	6,713,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,634,003	2,512,814
繰延ヘッジ損益	372	△6
為替換算調整勘定	△547,445	△591,796
退職給付に係る調整累計額	△6,952	△5,924
その他の包括利益累計額合計	1,079,977	1,915,085
非支配株主持分	1,414,252	1,312,121
純資産合計	9,303,558	9,941,084
負債純資産合計	14,916,202	16,530,729

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	6,633,835	6,649,162
売上原価	5,748,099	5,928,170
売上総利益	885,736	720,992
販売費及び一般管理費	822,881	804,763
営業利益又は営業損失（△）	62,854	△83,770
営業外収益		
受取利息	18,535	16,615
受取配当金	48,372	54,355
為替差益	－	88,448
雑収入	8,291	11,224
営業外収益合計	75,200	170,643
営業外費用		
支払利息	9,966	12,384
為替差損	24,657	－
支払手数料	6,591	6,638
雑支出	5,519	1,449
営業外費用合計	46,734	20,472
経常利益	91,320	66,400
特別利益		
固定資産売却益	－	610
投資有価証券売却益	50,538	110,992
国庫補助金	－	57,805
特別利益合計	50,538	169,408
特別損失		
事業構造改善費用	－	72,605
固定資産圧縮損	－	57,805
特別損失合計	－	130,411
税金等調整前中間純利益	141,859	105,397
法人税、住民税及び事業税	85,273	80,326
法人税等調整額	△19,212	△13,219
法人税等合計	66,060	67,106
中間純利益	75,798	38,290
非支配株主に帰属する中間純利益	48,007	54,836
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	27,790	△16,545

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	75,798	38,290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	277,124	878,810
繰延ヘッジ損益	239	△379
為替換算調整勘定	△227,423	△83,826
退職給付に係る調整額	4,194	1,901
その他の包括利益合計	54,135	796,507
中間包括利益	129,933	834,798
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	182,106	816,415
非支配株主に係る中間包括利益	△52,172	18,382

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	141,859	105,397
減価償却費	187,494	170,154
のれん償却額	2,754	2,754
事業構造改善費用	－	72,605
国庫補助金	－	△57,805
投資有価証券売却損益（△は益）	△50,538	△110,992
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△71,053	△32,507
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,190	9,360
賞与引当金の増減額（△は減少）	△19,175	△44,017
未払金の増減額（△は減少）	△233,216	－
受取利息及び受取配当金	△66,908	△70,971
支払利息	9,966	12,384
為替差損益（△は益）	△2,606	30,023
有形固定資産売却損益（△は益）	－	△610
固定資産圧縮損	－	57,805
売上債権の増減額（△は増加）	499,669	95,635
棚卸資産の増減額（△は増加）	879	△310,922
仕入債務の増減額（△は減少）	△95,209	226,314
未払費用の増減額（△は減少）	△36,164	18,859
その他	54,020	9,200
小計	320,581	182,666
利息及び配当金の受取額	66,908	70,971
利息の支払額	△9,994	△12,181
法人税等の支払額	△169,375	△120,441
営業活動によるキャッシュ・フロー	208,119	121,015
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	56,944	121,669
国庫補助金の受入による収入	－	57,805
有形固定資産の売却による収入	－	610
有形固定資産の取得による支出	△165,108	△83,509
無形固定資産の取得による支出	－	△9,596
その他の支出	△304	△1,951
その他の収入	8,670	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99,798	85,027
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△200,000	－
長期借入れによる収入	700,000	650,000
長期借入金の返済による支出	△390,000	△370,000
自己株式の取得による支出	△223	△5
リース債務の返済による支出	△5,943	△4,409
配当金の支払額	△78,911	△78,900
非支配株主への配当金の支払額	△119,649	△118,275
その他	709	567
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94,017	78,977
現金及び現金同等物に係る換算差額	△85,388	△71,448
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△71,084	213,572
現金及び現金同等物の期首残高	3,068,336	2,999,877
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,997,252	3,213,449

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日 至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	染色加工	縫製品販売	子育て支援	倉庫	機械販売	洗濯	計				
売上高											
外部顧客への売上高	4,213,200	191,728	2,058,613	16,085	26,594	91,712	6,597,934	35,900	6,633,835	－	6,633,835
セグメント間の内部売上高又は振替高	30,499	3,224	－	87,201	－	966	121,890	11,142	133,032	△133,032	－
計	4,243,700	194,952	2,058,613	103,286	26,594	92,678	6,719,825	47,042	6,766,868	△133,032	6,633,835
セグメント利益又は損失（△）	△83,136	18,625	79,034	△158	△589	10,232	24,006	37,467	61,474	1,380	62,854

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム事業及び付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失(△)の調整額1,380千円は、セグメント間取引消去であります。

３．セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日 至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	染色加工	縫製品販売	子育て支援	倉庫	機械販売	洗濯	計				
売上高											
外部顧客への売上高	4,079,992	199,643	2,173,087	31,153	27,254	100,422	6,611,554	37,608	6,649,162	－	6,649,162
セグメント間の内部売上高又は振替高	49,103	4,722	－	88,892	－	931	143,649	11,180	154,830	△154,830	－
計	4,129,095	204,366	2,173,087	120,045	27,254	101,353	6,755,203	48,788	6,803,992	△154,830	6,649,162
セグメント利益又は損失（△）	△174,895	8,879	40,443	12,562	1,005	△12,590	△124,593	39,322	△85,270	1,500	△83,770

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム事業及び付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失(△)の調整額1,500千円は、セグメント間取引消去であります。

３．セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。